

KUMENANCHO

久米南町

第82号

発行日/令和5年8月15日

# 議会だより



「たくさんの 笑顔と元気 久米南町」



## 宮地やすらぎの里 (久米南町宮地地内)

「宮地やすらぎの里」では、誠ハスを中心に60アールの休耕田で栽培されています。たくさんのハスを触れられるほど近くで見ることができ、涼を求めた多くの観光客が訪れ、散策等を楽しんでいます。

目次

豊かで住み良いまちづくり  
6月定例会の一般質問 … P2~7

岡山県町村議会議長会ほか P8

【発行者】岡山県久米南町議会  
議会広報編集委員会

〒709-3614 久米郡久米南町下弓削502-1

☎(086) 728-2112 (直通)

e-mail: gikaijimukyoku@town.kumenan.lg.jp

〈6月定例会〉

一般質問

質問内容及び答弁は議員自らが作成、議員の責任で掲載しています。

久米南町教育振興基本計画と本町のSDGsの取り組みについて問う



立石 祐一 議員

**問** 第2次久米南町教育振興基本計画について、新教育長として取り組むべき重点課題を、アフターコロナも踏まえ、どう推進していくのか問う。

**答** 教育長 第2次計画は、学校教育や社会教育、文化、スポーツ等の教育分野、全般にわたる具体的な取り組みを明らかにし、学校や家庭、地域が連携し、より良い久米南町の未来をひらくために、施策を推進する。また、昨年度、

**問** 近隣自治体の計画書と比較し、SDGs関連や、部活動の地域移行、教員の働き方改革など明記されている計画が多くあったが、本町の計画には明記されていないものに対して、本来、予算は付けにくい。さらには、それを推進していくにあたって、本体の計画に入っていないものを、現場が勝手に進めるのか、と

各学校と地域をつなぐ役割を担う、「地域学校協同活動推進員」を委嘱し、学校と地域、学校と協同活動推進員の話し合いの場を設け、各学校の地域学校協同活動も活発化している。



SDGsロゴ

では外部移行を検討する。働き方改革では、毎月校長会等で校長と連携をとりながら、改善を目指している。

**問** 本計画24ページ中段に「現在の本町の財政状況は大変厳しい状況にあります」「年度ごとに施策の評価を実施し検証し施策の工夫改善を図る」とあるが、現状はどうなっているのか。準備委員会が決まったことであつたとしても、財政上を理由に教育に予算がつけられない等がないのか伺いたい。

**答** 教育長 限られた予算を最大限有効に活用するよう進める。また、施策としての検証はできていないが、年度末までに検証の形を考え対応していく。

**問** 財政上厳しいというのは、どの自治体も当然だと思うが、子どもにその財政状況を押しつけ

ていたがたくない。格差のない教育を約束し推進してもらいたい。

**答** 教育長 向上できるように頑張っていく。新庁舎完成に併せ、本町独自のSDGsマークを作成し、持続可能なまちづくりに向けて、風を高める取り組みの実施や、町職員の名札や名刺のデザインについても刷新し、棚田遺産の写真を使用したり、特産品のロゴを入れたり、町のSNSやHPのQRコードを名刺に使用し、リンクを促すなど、職員一人一人が久米南町のインフルエンサーとしてPR意識を高めるように取り組んではどうか。

**答** 総務企画課長 SDGsを含め、職員一人一人が情報発信し、町の観光をはじめとする地域の活性化に努めたいと考えている。



# 町立小学校の再編について問う

南 直樹 議員



## 問

3小学校の再編について、現在の進捗状況と、小中一貫校として、いつからスタートする予定なのかお聞きしたい。

## 答

教育課長 昨年11月の町総合教育会議において再編の方針が決定し、再編後の学校教育の在り方について諮問するため、諮問機関として町学校教育審議会を設置した。

2月3日に諮問、3月28日に町学校教育審議会より答申を受けた。

再編方針としては  
○新小学校は久米南中学校との連携を深め、小中一貫校とする。

○新小学校の建設場所は久米南中学校の敷地内とし、連携に向けた教育活動を目

指す。

○現在の小学校については、新小学校開校までは現状を維持し、その後の利活用については当該地域の意向を踏まえ検討する。

この決定を踏まえ、新小学校校舎の建設に向け準備を行うため、開校準備委員会を設置したいと考えており、6月定例会

へ関連議案を上程している。令和9年4月に新小学校の開校を目指したいと考えている。

## 問

小学校の跡地について問う

小学校の跡地を、当該地域の意向を踏まえ検討していくとのことだが、どのように進めていくのかお聞きしたい。

## 答

教育課長 跡地の利活用は、当該地域における今後の地域活性化となる重要な施策だ。全町の地域住民の声をお聴きし、当該地域にとって最も有益に利活用していくため、最優先に取り組みたいと考えている。

## 答

町長 文部科学省が令和3年に実施した調査では、74%の廃校施設が様々な用途で使用されているとある。調査結果では約4割の地方公共団体が地



誕生寺小学校

域住民への意向調査を行っている。当町の跡地活用方法については、まずは地域の意向を伺いたいと考えている。実施時期や具体的な方法について検討している。

保育園の運営について問う  
昨年、誕生寺保育園について話が出たが、今後の運営について、どのように進めていくのか伺いたい。

## 問

保健福祉課長 本年度3園での運営に向

## 答

けて保育士の確保に努めてきた。3園での運営だけでなく、昨年度は休止していた一時保育や3園合同保育などが再開できるだけの保育士を確保することができた。園児数も対前年9名の増加になっている。

3保育園の統合は、今後の園児数の推移を鑑み、保護者、地域の方々の意見を伺い検討していきたい。

# 町政の諸課題について問う

河原 重義 議員



## 問

文科省より特別支援学級で学ぶ時間を週の内半分以下とするよう通知を发出したと聞いているが、本町ではどうなっているか。

## 答

教育課長 当該通知を推進するものとされている。本町の対応状況は、児童生徒の障害の状態や特性、及び心身の発達段階に応じた授業を行っている。

## 問

障害児の通常学級授業への対応、実態について本町での、小中学校での特別支援学級の状況を訊く。

## 答

教育課長 三小学校に四学級、中学校では二学級となっている。

「給食」

にがてでも

残さず食べる

時間内

西山いろは

**問** この通知は各自自治体あるいは学校で決定することが出来る。全ての子どもが平等に学ぶ場を提供されなければならないと私は考える。教育長の所見を伺いたい。

**答** 教育長 インクルーシブの考えのもとに行われており、教師の力量も必要になってくる。研修も必要だ。保護者の了解も得ながら、その子にとって最適な学びを考えながらやっ

て行かないといけないと考えている。

**問** 全ての子どもたちが共に学ぶ「インクルーシブ教育」が大切であると考える。現場の教職員とも相談のうえ教育施策をすすめていただきたい。

**答** 小中学校の図書館司書の充実を

**問** 各学校での図書利用、司書の体制はどのようになっているか。

**答** 教育長 町の図書館に司書は6人おり、週1回小学校または中学校へ出向いて活動している。

**問** PCの普及により、文字を読む、書などの機会が少なくなっている。そういった中で本に子供が触れることは大切と考える。司書の充実が重要。教育

グラウンドゴルフ大会の様子



長の所感を伺いたい。

**答** 教育長 子供達が一層読書に親しむには、本と人をつなぐ司書の役割は大変重要。また、今後図書館司書の業務は益々重要性を増して行くことが予想される。司書の配置、資質向上に努めていく。

**問** 学校再編を検討している今だからこそ考えていく事が重要だ。農林業の持続可能な取組、支援について

**答** 基幹産業でもある農業や町に占める割合の多い山林を守り育てることは重要だ。しかし、高齢化の波は着実に押し寄せている。早急に対策を取る必要がある。そこで農業では、中間管理機構の本町における取組状況、農事組合法人の現状、NPOの活動状況等について伺う。

**問** 産業振興課長 約45haが機構を介して耕作者に配分されている。また、町内には10の営農組織があるが、それぞれ高齢化、後継者不足等、多くの課題を抱えながら活動して

いる。

**問** 林業においてはどうか。森林環境譲与税などの今後の運用を含め訊く。

**答** 産業振興課長 人工林の意向調査を行ってきた。今後林業経営の分類を行ったうえで、森林保全事業等を実施する。高齢化の進む町で活動している諸団体への助成、

**問** 子育て環境の充実したまちづくりについて問う



近藤 賢司 議員

支援の施策について

**問** 高齢化の中、各団体とも様々な苦勞を抱えている。しかし、数年後には維持できなくなるのではないかと思える。行政としてできる支援策は考えられないか。

**答** 教育長 各種団体の活性化を検討する。

**問** 子育て環境の充実には、子育て家庭の切実な要望であり、子育て環境を整えることは第2期久米南町創生総合戦略の中でも重要な目標の一つとなっている。この点について以下の4点を伺う。

①公園機能の充実に向けての今後の施策。②撤去され

た遊具の新調設置と増設、ベンチのメンテナンス等。③子育て相談体制としての「ゆずっこアプリ」の活用状態、加入人数、相談内容、件数。④神目保育園の一時預かりの実施状況。

**答** 教育課長 今後の施策については、他の自治体の公園との相互利用をすることも効果的な活用策である。

**答** 保健福祉課長 公園機能等の充実にについては、次期の計画策定にお



いて、皆様からのご意見を反映させたい。ゆずっこアプリ登録者数は98名。少しずつ利用者も増加している。オンライン相談については、実績はまだない。保育園の一時預かり（神目保育園で実施）の実施状況は、今年度はまだ利用実績はない。

**答** 産業振興課長 道の駅くめなんにある公園については、オープンして30年近くが経過し、道の駅裏側の広場も老朽化が顕著に見受けられる。今後遊具の設置等も含め、施設全体を利用者のニーズに合った公園・広場にできるように検討したい。

**問** コロナ禍も明けつつある今日、公園の活用人口も増えるものと考えられる。多くの方々の気持ちの良い利用のため、遊具やベンチの新調や修繕、色塗り等を早急にされることを子育てしやすい町づくりのために要望したい。

**問** 小学校再編後の跡地利用について問う  
3月議会において、小学校の跡地利用に

ついて伺ったところ、「当該地域の意向を踏まえて検討していく」との事であったが、どのような形で、また、いつまでに意向を受け入れていくのか。そして具体的な活用には予算を伴うことが予想されるが、その財源はどのように生み出すのか。さらに、地域の意向については、地域自治会が主体になって検討委員会を立ち上げ、地域の方々の意見を吸い上げ検討していくという形も取りうるのではないかと考えられるが、この点について伺う。

**答** 町長 現段階では令和9年度からの開校に向けた準備を進めているところであり、ご質問の検討については、地域のご意見をお伺いした上で活用方法等をご提案したいと考えている。当該費用、

財源、費用も想定できないため、答弁もできかねる。議員の言われるように、地域の自治会もそのひとつあるが、様々な議論の場もあるのではないかと。その点も今後考えて参りたい。

**問** できるだけ早急に行政が中心になって地域に働きかけていただきたい。



道の駅くめなん

## 教育環境と公共施設の管理について問う

小坂 守 議員



### 教育環境について

**問** 小学校再編の方針が決定され、中学校と連携した小中一貫校、小学校の新築、建設場所は中学校の敷地内、新小学校開校までは現状の3校の維持が示された。開校までのスケジュールについて伺いたい。

**答** 教育課長 開校までの大まかなスケジュールは、新校舎建設については、設計業者の選定を進めている。来年度5月に国の補助申請を行い、国の補助決定が下り次第、校舎建設に取り掛かる。令和8年度中に校舎建設を完成、令和9年4月に新小学校の開校を目指す。次に開校に向けて、様々な準備を行うため、開校準備委員会の設置を予

定している。

**問** 既存の中学校の施設利用は可能か。

**答** 教育課長 中学校と小学校のそれぞれの学校運用を調整して、できるだけ中学校の施設を利用したいと考えている。

**問** 開校準備委員会の設置を予定されているが、多種多様な課題を議論されると思う。どのようなメンバーを想定されているのか。

**答** 教育課長 開校準備委員会は、開校に向けた準備や、施設整備に関することなど、教育委員会の求めた事項について、調査及び検討を行うものとしており、開校準備委員会の組織は町自治会連合会、小中学校の保護者、保育園の保護者、小中学校長、及び学識経験者等、20名以内での組織構成を予定している。



町保健・福祉センター

生後の緊急活動や緊急輸送を円滑・確実に実施するため、緊急輸送道路

**答**

建設水道課 長 地震発

震化への取り組みについて伺いたい。

**問**

町民の大事 なインフラ

インフラ施設の耐震化について

の最終とりまとめは全庁的な組織で決定する。

**答** 総務企画課長 持続ある公共施設の運営を推進するためには、利用用途が異なる様々な公共施設

**問** 公共施設の管理について 公共施設等総合管理計画によると、公共施設マネジメントの実施にあたっては、総務企画課において施設に関する情報を一元的に管理し、公共施設の現状を把握できる状態にするとともに、全庁的な取組体制を構築とあるが、どのような取組体制か伺いたい。

設に対して、庁内の各組織が連携し、組織に関する様々な情報を共有・活用し、全庁的なマネジメントに取り組む必要があると考えている。施設の複合化や用途変更などは所管課だけで判断することが困難な場合もあり、関連する複数の課の意向を調整しながら最終決定を行う必要があるため、施設全体を把握し、一元的に管理する総括組織を総務企画課が担い、公共施設の廃止、統合などのマネジメントの最終とりまとめは全庁的な組織で決定する。

「うれしい」 かあさんと おかしづくりは わくわくだ 家門 里衣



久米南町の空き家流動化をどう図るか

上にある跨道橋の重要な橋梁が甚大な被害を受けないよう、耐震化対策を進め、昨年度診断を実施。水道については、平成25年度から施設更新と耐震化の促進を

**問**

質問通告に補足したい。私は最近、町出身の建築家と話す機会があった。日本でも住宅に対する考えは大きく変化しているそう。関心を持ったのが、日本でもリフォームを自分でする人が増えている話だ。それをDIY（ドゥーイットユアセルフ）と言ひ、自分で必要なものを作ったり修理したりすることを、一般的に指す言葉らしい。日本でも数年ほど前から20才から30才台の女性を中心にブームが起きているという

質問通告に補足したい。私は最近、町出身の建築家と話す機会があった。日本でも住宅に対する考えは大きく変化しているそう。関心を持ったのが、日本でもリフォームを自分でする人が増えている話だ。それをDIY（ドゥーイットユアセルフ）と言ひ、自分で必要なものを作ったり修理したりすることを、一般的に指す言葉らしい。日本でも数年ほど前から20才から30才台の女性を中心にブームが起きているという

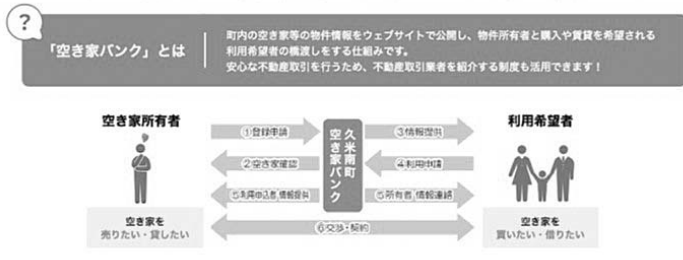
政廣 幹夫 議員

図り、加圧ポンプ場施設、ダクタイル鑄鉄管路の耐震化を実施している。今後適切な点検、維持管理に取り組む。

ネット記事を見た。家族や友人、恋人と一緒にリフォームを楽しむDIY女子が沢山いるという。この変化のなかで久米南町の空き家を持つ魅力をどう情報発信するか。空き家バンクからピックアップして、実際の空き家をモデルにDIYを取り入れたリノベーション（既存の住宅に新たな機能や価値をプラスする）のアイデアをオンラインで見られるようにするとか、現地で専門家による個別相談やセミナー開催が有効ではないかと助言いただいた。このように、久米南町からの情

空き家バンク登録物件募集中！

久米南町では、毎年100件程度の移住相談がありますが、移住できる家屋が不足しています。空き家バンク制度を通じて、物件を活用する方も増えています。お気軽にご相談ください。



※町は情報の紹介や必要な連絡調整等を行います。所有者と利用希望者間で物件の売買、賃貸借に関する交渉、契約の仲介等は一切行いません。

登録物件募集中

**答** 産業振興課長 空き家等の住環境の提供は、定住・移住施策に最も必要な重要な取り組みと考

報を受け取る人を意識して、空き家対策にも取り組んでもらいたいということが質問の趣旨だ。町の空き家実態調査で空き家が新たに発掘される。これをどうするかが課題だ。この空き家流動化をどう図ろうとするのか。片山町長はどう情報発信するか。



える。空き家対策は、専門家と連携を図ることが重要だ。空き家バンクは、岡山県宅建協会及び岡山県不動産協会と連携を図り、岡山県情報流通システムを活用し、スマイル岡山で情報発信している。情報発信の強化は、今年度、岡山県がスマイル岡山の機能を改修し、自然環境や生活スタイル等、暮らしのイメージに合わせて検索ができるよう、機能を拡充する。空き家調査は空き家流動化の一本目で、結果を移住施策、広域連携での取り組み、官民連携等につなげ、引き続き効果的な施策を検討する。先ほどDIY女子という言葉が出たが、現在地域おこし協力隊隊員の一人も空き家を購入し自分でDIYをしている。そういう見学ツアーも検討したい。

**答**

町長 議員が言われたように、空き家の情報発信に合わせて、DIYで直してやろう、古い空き家がこの値段なら、これだけ手を加えよう、まだ新しい空き家に住みたいという方

も。古けりゃ古いで囲炉裏も付けて、昔なりのあれを出しながら住みたいという方もおられると思う。そうなたときに今度は、地域に住むわけですから、その地域の中がどうなっているかも、情報発信せねばと考えている。地域情報も載せる形での情

報発信も考えている。今、町長が言われたのは当然で、そういう情報もいかに発信していくか、具体的にやるのが大事だ。色んな、多様な人が見るし、町内の状況も多様なので、正確に、関心を持ってもらえるよう発信されたい。

**保育園等について**

光元 一郎 議員



**問**

3園を統合する時期に来ているのではないか。昨年の誕生寺保育園の問題は保育士の確保が問題だったが、私が問題とするのは現在の保育が小学校でいうところの複式学級となっていることだ。一番成長の早い時期に最大2歳近くの年齢差があることで、学力も体力も相当差があるわけだが個人差より年齢差が大きいのではないか、早く統

合して同い年の子が1人の保育士に見てもらえるような環境を作るべきではないか。

**答**

町長 時期として来ているものと考える。農業振興について

**問**

高齢化により久米南町の農業は衰退しているが、ブドウとキュウリは益々拡大している。ブドウについては植栽できる場所が少なくなっており、新たな開墾や水田の転換はできないか、離農者からの引き継ぎ、荒廃園の再生、水田からの転換、たばこ畑からの改植と進んで限界が来て

いるのではないか。

**答** 産業振興課長 令和2年度から新規就農者の園地確保のため休耕田6・8ヘクタールを区画整備、2期工事の要望があり新たな事業実施に向け調整を行っている。準備が整ってから着手までは様々な手続きもあり、最短で3年程度かかる。面積については5ヘクタール以上の面積を確保しなければならぬ。

**消防団について**

**問** 現在消防団員がいない自治会、または昼間は他所に仕事に出ている団員のいない自治会がある。消防団員OB等に声をかけ、予備団員として登録し初期消火等に活動してもらったらどうか。例えば我が家の近所で火事があったら、消防団員は職場から帰ってきて、機庫まで搭乗車を取りに行き帰ってくるというよう



キュウリほ場

に時間がかかる。初期消火においてわずか1、2分のこと被害の規模に影響する。私も消防団のOBであり、目の前で災害が起こった時に手をこまねいてじつと消防が来るのを待つのも辛いと思います。

**答** 総務企画課長 機能別消防団員の創設と考える。すでに導入している自治体や消防団の意向も踏まえ検討する。

「うれしい」 やつとだよ ほしいカードが ぼくの手に 杉本 颯史

## 町村議会議長・副議長研修会に参加



会場にて

5月23日に町村議会議長・副議長研修会が東京国際フォーラムで開催され、杉本議長と政廣副議長が参加しました。3部構成の講

なり手不足」を解消するため、議会・議員の活動内容や魅力を広く住民に周知し、環境改善に取り組む必要性を感じました。

演があり、中でも大正大学社会共生学部教授・江藤俊昭氏の「町村議会の課題と今後の展望について」と題した講演では、喫緊の課題である「議員の

## 杉本議長が全国町村議会議長会感謝状を受領



本年5月17日に、任期満了により岡山県町村議会議長会会長を退任された杉本議長に対し、全国町村議会議長会及び岡山県町村議会議長会より感謝状が贈呈されました。

## 庁舎等複合施設建設現場を視察



建設現場にて

6月22日に現庁舎横に建設中の庁舎等複合施設建設工事現場を視察しました。現場入口で配布されたヘルメットを装着し、担当課・施工業者からの説明を受けながら、内部を1階から2階まで確認。多目的な議場や職員執務スペースなどを前に、施工業者から状況説明を受けました。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、この夏は久しぶりに各所で花火大会や夏まつりが開催されているようです。徐々にかつての生活を取り戻して来ています。一方で、ロシアのウクライナ侵攻に伴う戦争の終わりが見えない中で、物価高騰も懸念されるところでもあります。早く平和な世界になる事を願ってやみません。

庁舎等複合施設の建設工事もお外観はほぼ出来上がり、内装工事を急ピッチで進めています。完成予定の時期が若干延びています。



外観イメージ

が、町民皆さんが快適で安心して来庁できる施設になることと思います。皆様におかれましては、残暑きびしい折ではありますが、お体に気を付けてお過ごしください。(河原重義)

## 議会広報編集委員会

- |      |      |      |      |
|------|------|------|------|
| 委員   | 委員   | 副委員  | 委員長  |
| 河原重義 | 小坂重義 | 近藤賢司 | 立石祐一 |

